

【嬉野市の特徴や誇れるもの】

- ★嬉野はお茶と温泉の町で年間200万人の観光客がある。
- ★「国の重要伝統的建造物群保存地区」に選ばれた「塩田津」がある。
- ★吉田焼や志田焼という長い歴史を持つ焼き物がある。

【塩田小の取組】

塩田津を会場とした「よかところ祭り」

毎年嬉野市教育の日に、伝統的建造物群保存地区である「塩田津」を会場として、学習発表会「よかところ祭り」を開催している。この塩田津での開催は今年で10回目となる。

児童は、この学校行事を大変楽しみにしており、学習の成果を発表する充実感や達成感を味わわせ、表現することに自信を持たせる場となっている。また、地域の人材・財産に目を向けた学習や地域コミュニティの方々とのふれあいの中で、ふるさと塩田の素晴らしさに気づかせ、地域をより良くしていこうとする関心・意欲・態度を育てるよい機会となっている。



【6年生：「塩田の今・昔・未来へ」】



【児童の絵が飾られた塩田津の通り】

教育委員会所在地：嬉野市塩田町大字馬場下甲1769

連絡先：0954-66-9128

学校数：小学校8校、中学校4校

【嬉野小の取組】

嬉野のよさについて考えよう

6年生が嬉野についてもっと知りたいことについて調べ、疑問を持った点について市観光協会、神社、旅館、店舗を実際に訪れて調査を行った。

嬉野市教育の日（日曜参観）に来校者の前で「嬉野PR大作戦」と題した発表を行い、一人一人の意見を堂々と伝え、参観者から講評をいただいた。



【地元商店の取材】

【吉田中の取組】

400年の歴史を誇る「吉田焼」
地元の産業「焼き物づくり」を学ぼう！

地元の陶芸家を招き、焼き物を実際に作るとともに、吉田焼の歴史を学んだ。

この取組を通して、ふるさとに誇りを持ってくれることを願っている。



【地元陶芸家から学ぶ】

嬉野市の誇れるもの

- ・日本三大美肌の湯、嬉野温泉を有する観光地である。
- ・嬉野茶、吉田焼、志田焼など伝統産業がさかん。
- ・国の重要文化財に指定されている西岡家住宅をはじめとする文化財や史跡が多い。
- ・蛍の名所があるなど豊かな自然に恵まれている。
- ・市内全小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、地域ぐるみで子どもたちを見守り、支援している。

具体的な取組・活動例・・・嬉野学の実践

市内全小中学校において、生活科や総合的な学習の時間において、郷土学習(嬉野学)を実施し、郷土を愛する心を育む教育を推進している。

その際、各学校の実践をまとめた「嬉野学指導資料集」を活用し、地域の歴史、文化、産業等に係る授業の充実を図っている。

また、コミュニティ・スクールの強みを生かし、地域の方々をゲストティチャーとして招聘するなどして充実を図っている。

総合的な学習の時間(嬉野学)

—指導資料集—



嬉野市教育委員会



茶摘み体験の様子



田植え体験の様子

教育委員会所在地:嬉野市塩田町大字馬場下甲1769番地

連絡先:0954-66-9128

学校数: 小学校 8 校、中学校 4 校

塩田小学校の取組

「塩田の昔、今、そして・・・」(6年生)

総合的な学習の時間に「ふるさと塩田のよさ」について調査を行った。国の伝統的建造物群保存地区に指定されている「塩田津」の歴史や地元企業等の取材、鍋野和紙すきの体験等を通して分かったことや考えたことを秋の「よかとこ祭り」(塩田津で開催)で発表した。

保護者や地域の方からは、「身近なことも知らないことが多く、勉強になりました」「歴史ある塩田に住めて幸せですね」等の感想を数多くいただいた。また、学習後に児童は「塩田の歴史についてさらに学習を深めたい」「私たちも期待にこたえられるようにがんばりたい」等の考えを持つようになった。



【鍋野和紙すきの体験活動】

大草野小学校の取組 「ホタル学習」(4年生)

大草野地区は、かつてホタルの名所として知られていました。その再生事業として地域コミュニティの方々の指導の下、総合的な学習の時間

に、「ホタル学習」に取り組んでいます。成虫をいただき、ふ化させた後、幼虫を近くの人工の川に放流しています。子どもたちは、ホタルの里を再生させるのを楽しみにしています。



【幼虫の放流】